

IME 研修のご案内

実務のヒューマンエラー、ポカミス防止 ～業務のエラー・ミスの是正・予防～

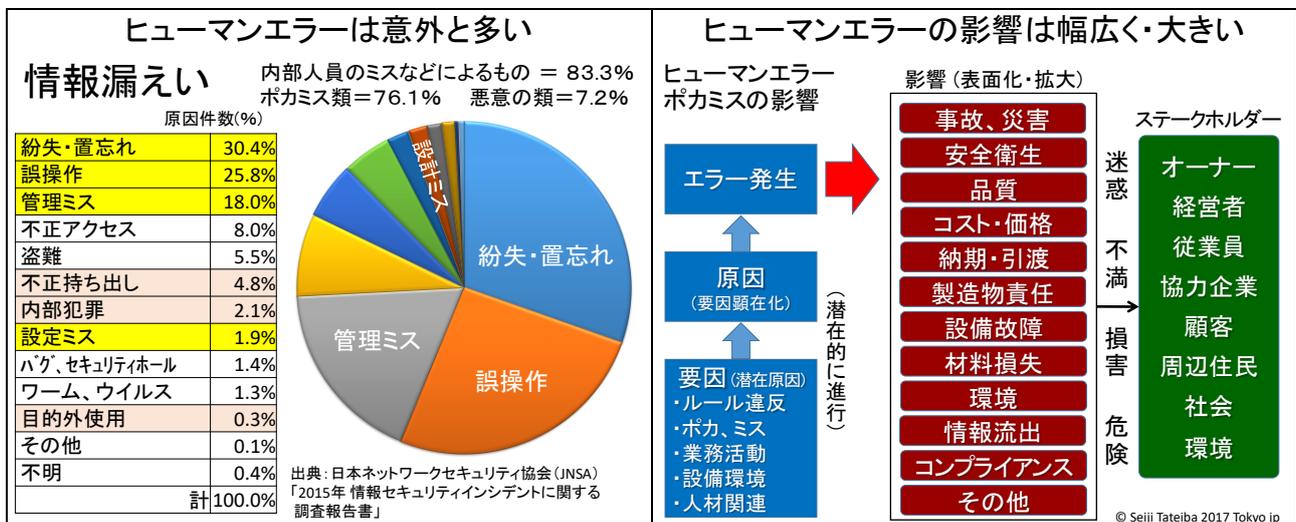


[\[お問合せ\]](#)

■ヒューマンエラー、ポカミスの影響

会社の実務におけるヒューマンエラー、ポカミスの発生は、社内においては「事故・災害」「品質」「コスト」「納期」「安全衛生」「売上・利益の減少」などに直接影響します。社外に対しては「顧客満足低下」「周辺住民への加害」「公害・環境へのインパクト」などの問題が生じます。

ヒューマンエラーは、人命、会社の存続にかかわる事もある！



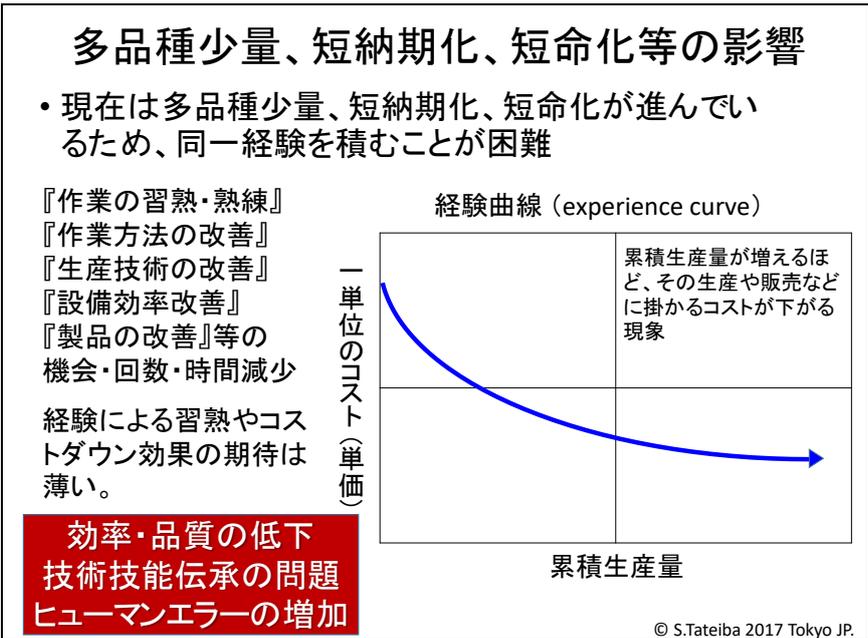
■会社の今後とヒューマンエラー、ポカミス

社会では今後も、製品、生産方法・技術、QCDなどに大きな変化が続きます。

実務においては、製品ライフサイクルの短命化や多品種少量化、短納期化等から製品の繰返し生産が減る事で、経験の蓄積や技術技能の習得が困難になる、OJTの機会が減るなどの影響が生じています。

さらに、人の生活形態、思考やメンタルの変化などがこれに拍車をかけると考えられます。

ヒューマンエラー、ポカミスは増加傾向にあると言えます。



ヒューマンエラーは今後、増加する・・・！

[お問合せ]

■ヒューマンエラー、ポカミスの要因

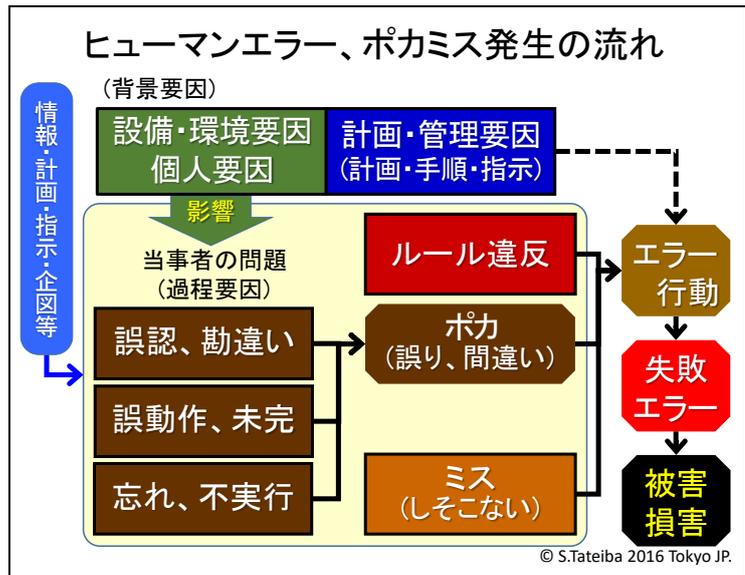
改善は、原因を見つけて取除く事です。しかし、ヒューマンエラー、ポカミスの原因は、当事者の判断ミスやポカだけではありません。

入手した情報が曖昧であったり、見難かったりすると間違いを起こします。

作業環境が暑かったり、暗かったりすると集中できず失敗を誘発します。

そもそも、指示が間違っていたり、手順書が古かったりすると、その通りに作業すると失敗になります。

これらの事から、ヒューマンエラー、ポカミスの原因は、当事者だけにあるという訳ではないと考えられます。



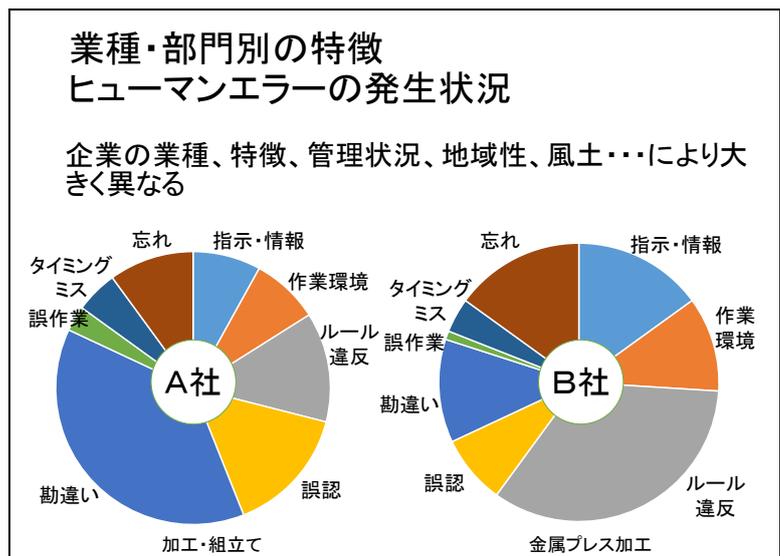
■ヒューマンエラー、ポカミスの要因

ヒューマンエラーの発生状況やその原因は、会社、工場、工程ごとに種類や内容が異なります。

さらに、地域性や一人ひとりの個性・特徴によっても異なります。

他社事例を単純にマネしても効果があるとは言えません。

発生ごとに原因を突き止めて、改善を繰り返すことが必要です。



■研修のポイント

- ・ポカミスは、ポカよけだけではなくなりません。ルール・方法、指示・指導、環境の改善も必要です。
- ・ヒューマンエラー、ポカミスの本質を理解することで、効果的な対策へのヒントを得られます。
- ・原因究明・要因追及、対策の考え方と仕組みづくりのポイントを学べます。
- ・演習を通じて、自社の改善の仕組みづくりに取り組むことができます。

ポカミスは、「ポカよけ」だけでは 無くならない！

■研修のねらい

人が作業を行う限りヒューマンエラー、ポカミスはゼロにはならないものかもしれませんが、減らすことは可能です。会社を存続させ、人を不幸にしない様にする為には、管理の難しいポカミスなどに注意し、失敗が発生しにくい仕組みをつくることが重要です。

この研修では、業務における失敗要因の捉え方と対策、予防について、事例を交えて学ぶとともに、自社のポカミス対策について検討します。(演習で使用したシート類はお会社でご使用いただけます。)

■研修の内容

研修日程は「1研修」と「2日間研修」をお選びいただけます。

「1日研修」

対象：管理職、第一線監督者(係長)、改善担当者

[お問合せ]

日程	時間	科目・内容	講師
一日目	9時30分 ～ 16時30分	I.実務のエラー、ポカミスの考え方 1. ポカミスの概念 2. ポカミス発生のメカニズム 3. ポカミス対策の考え方 4. 改善のパターン例 II.実務のエラー、ポカミス対策 1. 発生確認・検証 2. 状況調査 3. 原因・要因抽出 4. 対策考案 5. 具体化 6. 定着化・管理 【グループ演習】 ポカミス対策シートによる改善演習 III.エラーを発生させない仕組み作り 1. 仕組みの考え方 (システム基盤) 2. 自社の振り返り	立居場 誠治 (株)IMEコンサルティング 代表取締役

※ 実務でのエラー防止対策には充分です。演習の「ポカミス対策シート」はお会社でお使いいただけます。

「2日間研修」

対象：管理職、第一線監督者(係長)、改善担当者

[お問合せ]

日程	時間	科目・内容	講師
一日目	9時30分 ～ 16時30分	I.実務のエラー、ポカミスの考え方 1. ポカミスの概念 2. ポカミス発生のメカニズム 3. ポカミス対策の考え方 4. 改善のパターン例 II.実務のエラー、ポカミス対策 1. 発生確認・検証 2. 状況調査 3. 原因・要因抽出 4. 対策考案 5. 具体化 6. 定着化・管理 【グループ演習】 ポカミス対策シートによる改善演習 III.実務のエラー、ポカミスの予防 1. 予防活動準備 2. エラー調査 3. データ整理・展開 4. 要因追求 5. 対策考案法 6. 計画立案 7. 定着化・管理 【グループ演習】 ケースの要因追及、予防処置考案	立居場 誠治 (株)IMEコンサルティング 代表取締役
二日目	9時30分 ～ 16時30分	IV.エラーを発生させない仕組み作り 1. 仕組みの考え方 (システム基盤) 2. 人材の育成とケア (人的基盤) 【個別(自社)演習】 チェックシートによるミスが発生させない仕組みづくりの検討	

※ 実務のエラーの発生後の対応と予防が対象。改善の考え方、考える力を身に付けることが可能です。

※ 研修の内容(カリキュラム)は、予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※ 以上の研修案内は、各地の研修機関(団体)様で研修を実施した際に作成、配布された研修パンフレットの記載内容です。

※ 全国各地に出講いたします。

出講した都道府県 北海道、秋田、岩手、宮城、山形、新潟、長野、群馬、栃木、埼玉、茨城、千葉、東京、神奈川、静岡、愛知、富山、石川、京都、奈良、大阪、和歌山、兵庫、岡山、鳥取、広島、愛媛、福岡、佐賀、熊本

※ 最近、ご要望の多いテーマ

研修機関	経営層向け	経営戦略・成長戦略立案、経営管理の仕組み
	管理職向け	新製品開発、技術技能伝承
	監督者、担当者向け	ヒューマンエラー・ポカミス防止、IE手法の理解、原価改善
社内研修	経営層向け	経営戦略立案ゼミナール研修
	工場長、管理職向け	製造原価の改善・革新マネジメント
	監督者、担当者向け	実務のヒューマンエラー・ポカミス防止、(QC)品質管理の基礎

※ 出講の費用等

お問合せをいただき、実施の日数や実施要領等のご相談内容に応じて、お見積りいたします。

[\[お問合せ\]](#)

■ (株)IMEコンサルティングの会社概要

会社概要

業務開始	1991年3月1日 (日本能率協会を通じて)
創業年月日	1998年8月1日 (直接受注開始)
設立年月日	2001年7月3日 (株式会社登記)
設立会社名	株式会社 IMEコンサルティング
所在地	東京都大田区蒲田
代表取締役	立居場誠治
資本金	1千万円



日本能率協会会員
東京商工会議所会員
大田ブランド登録会員
蒲田法人会会員
中小企業大学校講師



業務内容

- ・診断
- ・コンサルティング
- ・研修・講演
- ・ツール開発
- ・書籍、文書類
- ・eラーニングシステム開発
- ・研修コンテンツ開発

技術テーマ

- ・経営戦略、成長戦略、経営計画
- ・製品開発・管理
- ・マネジメントシステム構築 (経営、組織、原価、ISO)
- ・生産管理、最適生産システム構築
- ・人材育成、技術技能伝承、OJT
- ・現場改善管理 (IE、QC、ポカミス)
- ・実施効率管理 (工数設備効率、品質コスト)

■ 講師プロフィール

立居場 誠治(たていば せいじ) (株)IMEコンサルティング 代表取締役

日本大学卒業後、大手建材メーカーで生産管理、コストダウン、品質管理、公害対策、研究開発等を担当。その後、1991年より日本能率協会、1997年よりタナベ経営にて経営コンサルティング、研修等を行い、1998年に独立し、現在に至る。

専門分野は、IE技術を軸とした原価マネジメント、現場改善、ISO9001, 14001, OHSAS18001 の認証取得支援等で、多くの企業の指導、教育研修の実績を持つ。

著書に『技術者のための原価企画』、『理想原価への挑戦』(日本能率協会出版)

『経営戦略立案』、『経営管理の仕組み』、『ヒューマンエラー、ポカミス防止』(コンテンツ堂出版) などがある。